

校長・准校長サイン	名前
-----------	----

学校名 府立長野北高等学校	名前
---------------	----

## 1 学校教育目標（めざす生徒像）

生徒の自己肯定感を育み、進路希望の実現につなげる

- 1 自己肯定感を高める
- 2 多様な進路希望をもつ生徒の希望進路を実現する
- 3 安全で安心な魅力ある学校づくり
- 4 学校運営体制の効率化と危機管理能力の向上

## 2 令和元年度の校内研究の取組み

### （1）研究テーマ及び設定理由

#### ①研究テーマ

長野北高校の生徒に身につけさせたい4つの力

「自己肯定感」「コミュニケーション力」「基礎学力」「自分で考える力」の育成

#### ②テーマ設定理由

H30年度にもパッケージ研修を受講した。その際、教職員全体研修を実施し、本校生の現状および生徒にどのような力を身に付けてほしいかを議論・共有した。そこで共有した「自己肯定感」「コミュニケーション力」「基礎学力」「自分で考える力」を生徒に身に付けさせることをテーマに設定した。

### （2）校内研究の取組みについて

#### ①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

4つの力をそれぞれ学期ごとの目標とし授業づくりをする。

#### ②具体的な取組み

（ア）目標の視覚化

（イ）4つの力をそれぞれ各学期の目標に設定し、授業実践

（ウ）6月、9月の授業公開月間の活性化

（エ）学期終わりに教職員全体研修を実施

目標を達成するために実践した内容や改善点について振り返り・共有

（オ）10年経験者研修受講者や英語教育推進中核教員研修受講者の巻き込み

### ③取組みの検証方法

#### (ア) 目標の視覚化

- ・ 4つの目標および各学期の目標をわかりやすく提示する。その際、教員向けには職員室に、生徒向けには各教室に掲示する。

#### (イ) 4つの力をそれぞれ各学期の目標に設定し、授業実践

- ・ 4つの力のうち、1学期に特に取り組む目標を「自分で考える力」とし、2学期の目標を「コミュニケーション力」に、3学期の目標を「(進路実現に向けた)基礎学力」として、授業実践を行う。「自己肯定感」については、各学期の3つの力が身に付いた結果、育まれる力であるため、図3のようなイメージで考えた。
- ・ 9月の授業公開月間にパッケージ研修代表者の研究授業を行い、研究協議を行う。

#### (ウ) 6月、9月の授業公開月間の活性化

- ・ 授業公開月間における授業見学率を向上させるため、また目的意識をもって授業見学するため、先生方に授業のポイントを記入していただいた一覧表を作成し掲示する。
- ・ 公開月間にパッケージ研修代表者の研究授業を実施する。

#### (エ) 学期終わりに教職員全体研修を実施

目標を達成するために実践した内容や改善点について振り返り・共有

- ・ 学期ごとに目標に対して ①実践してうまくいったこと、②実践してうまくいかなかったこと、③うまくいかなかったことに対する改善策、をグループワークにて振り返り・共有する。

#### (オ) 10年経験者研修受講者や英語教育推進中核教員研修受講者の巻き込み

- ・ その学期の目標における授業実践のポイントを明確にさせていただく。

## 3 取組みの検証

### (1) 校内研究の成果

#### (ア) 目標の視覚化

- ・ 教員向け：職員室の中央の2カ所にカラープリントで大きく掲示し、先生方が目標を常に意識・確認できるようにした。(図1)あわせて、各目標の実践報告や改善策など、教職員全体研修の結果なども大きく掲示した。(図2)
- ・ 生徒向け：教室掲示用にカラープリントで目標のイメージ図を作成。学期ごとに担任が生徒に今学期の目標を生徒に伝えた。(図3)



図 1

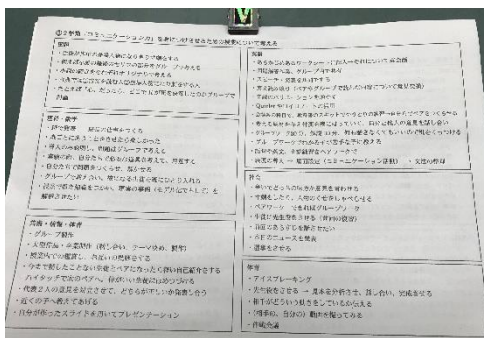


図 2



図 3

(イ) 4つの力をそれぞれ各学期の目標に設定し、授業実践

- ・9月の授業公開月間のまとめとして、パッケージ研修代表者の研究授業を行った。  
(実施学年：3年、科目：地学基礎、単元：火山活動と地震)  
導入では、個人ワークで復習や自身の考えを確認。展開では2学期の目標である「コミュニケーション力」を身に付けるための取り組みとして、①地域の拡大地図を用い、地震による被害や危険箇所、避難場所などを記入すること、②その地図上で地震が起こった際に自身が避難する場所を確認すること、を5～6人のグループワークで実践した。
- ・パッケージ研修代表者の研究授業を実施した。多くの先生方に見学していただけるよう、①研究授業を2コマで実施した、②見学できなかった先生用として、授業動画を撮影し、共有ファイルに保存した。研究協議は、見学できなかった先生が授業動画を見る時間を設けるために、研究授業の一週間後に設定した。

(ウ) 6月9月の授業公開月間の活性化

- ・事前に、①先生方に見学されてもいい授業(3コマ)、②学期の目標に対して授業で具体的にどのように実践するかポイントシートに記入していただき、それを一覧表にまとめ、大黒板に掲示した。全先生に入力していただいた。
- ・一覧表を見て、見学したい先生の欄に名前を記入していただき、授業見学するようにし、見学率を確認した。(図4、図5)

		1週目 5日(水)～7日(金)		
山橋	クラス	2-1	2-2	
	日・時間	6日(木)2限目	7日(金)1限目	12
	場所	選択B	2-2	1
	科目	生物基礎	生物基礎	
	「考える力」のポイント	導入で自分の考えを書かせてから展開	導入で自分の考えを書かせてから展開	しっかりと実験

図4 シート記入例

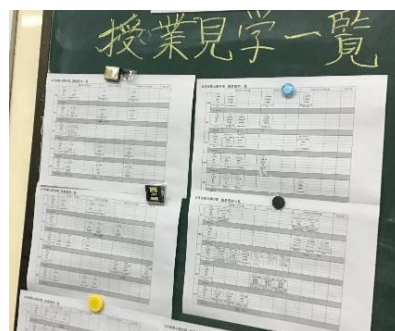


図5 一覧表

- ・見学後に振り返りアンケートを記入していただき、回収した。6月度の回収率が34%だったため。9月度は授業見学の際、タブレット端末を持参していただきその場で振り返りアンケートを記入していただくよう改善した。しかし36%とさほど変化がなく、回収率も低い結果となった。

(エ) 学期終わりに教職員全体研修を実施し、目標を達成するために実践した内容や改善点について振り返り・共有する(図6)。

- ①自由席で班をつくる。PTメンバーを各班に1人おきファシリテーターとしての役割を担う。
- ②個人ワーク：学期の目標における授業実践について、「実践してうまくいったこと」、「実践してうまくいかなかったこと」、「うまくいかなかったことに対する改善策」を付箋に記入。模造紙に貼り付けていく。(図6、図7)
- ③グループ内で共有。その後、発表にて全体共有した。
- ④教科ごとの班に変え、次の学期の目標における授業での実践内容を検討し、発表にて全体共有した。

- ・研修のまとめを教職員に配付・大黒板に掲示し、意識付けをした。(図2)
- ・どの回も出張や休暇の教員以外は全員参加した。



図6



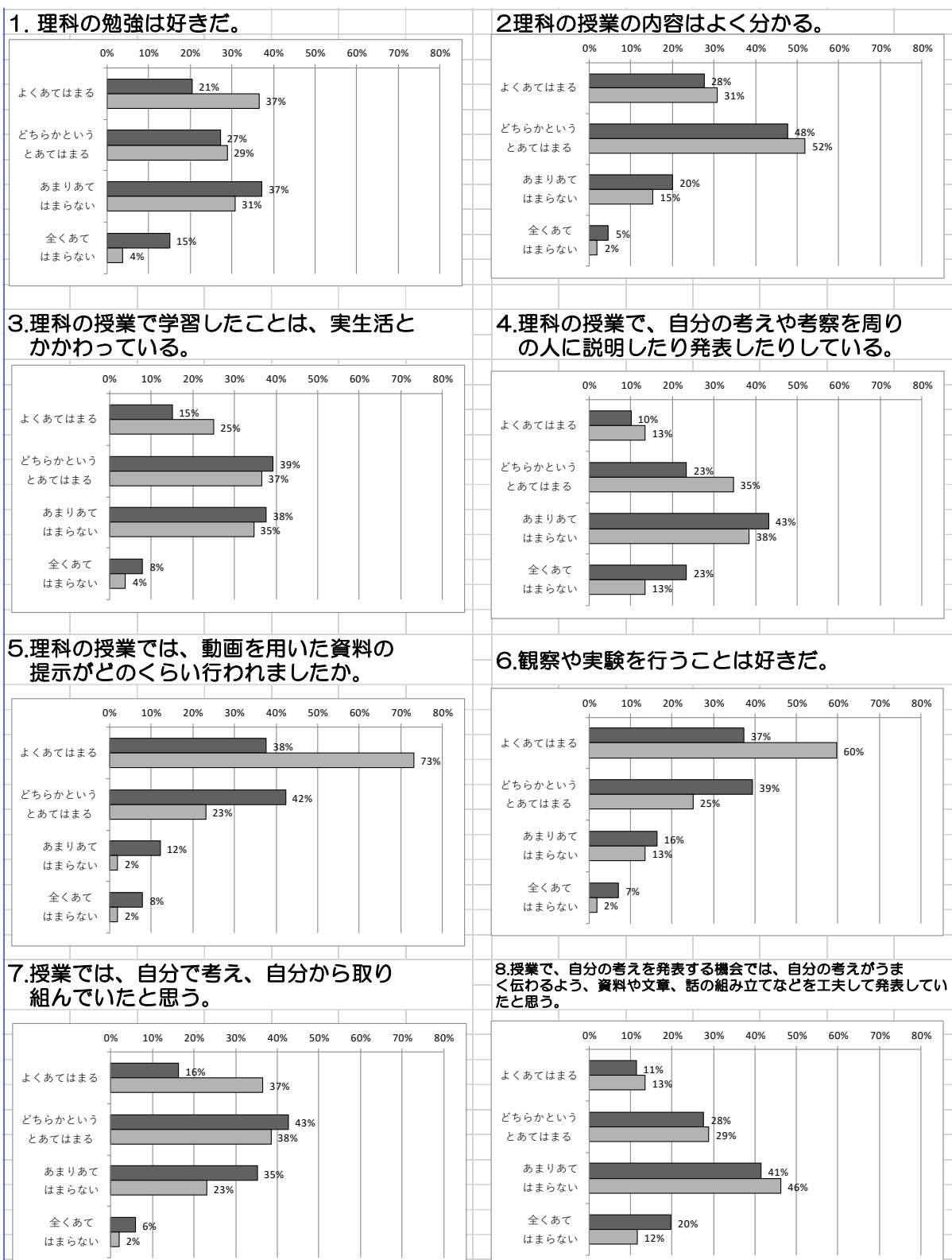
図7

(オ) 10年経験者研修受講者や英語教育推進中核教員研修受講者の巻き込み

- ・その学期の目標における授業実践のポイントを明確にいただき、研究授業をしていただいた。研究授業の前に、職員会議にて10年経験者研修受講者および英語教育推進中核教員研修受講者の研究授業の目標における授業での工夫をアナウンスした。

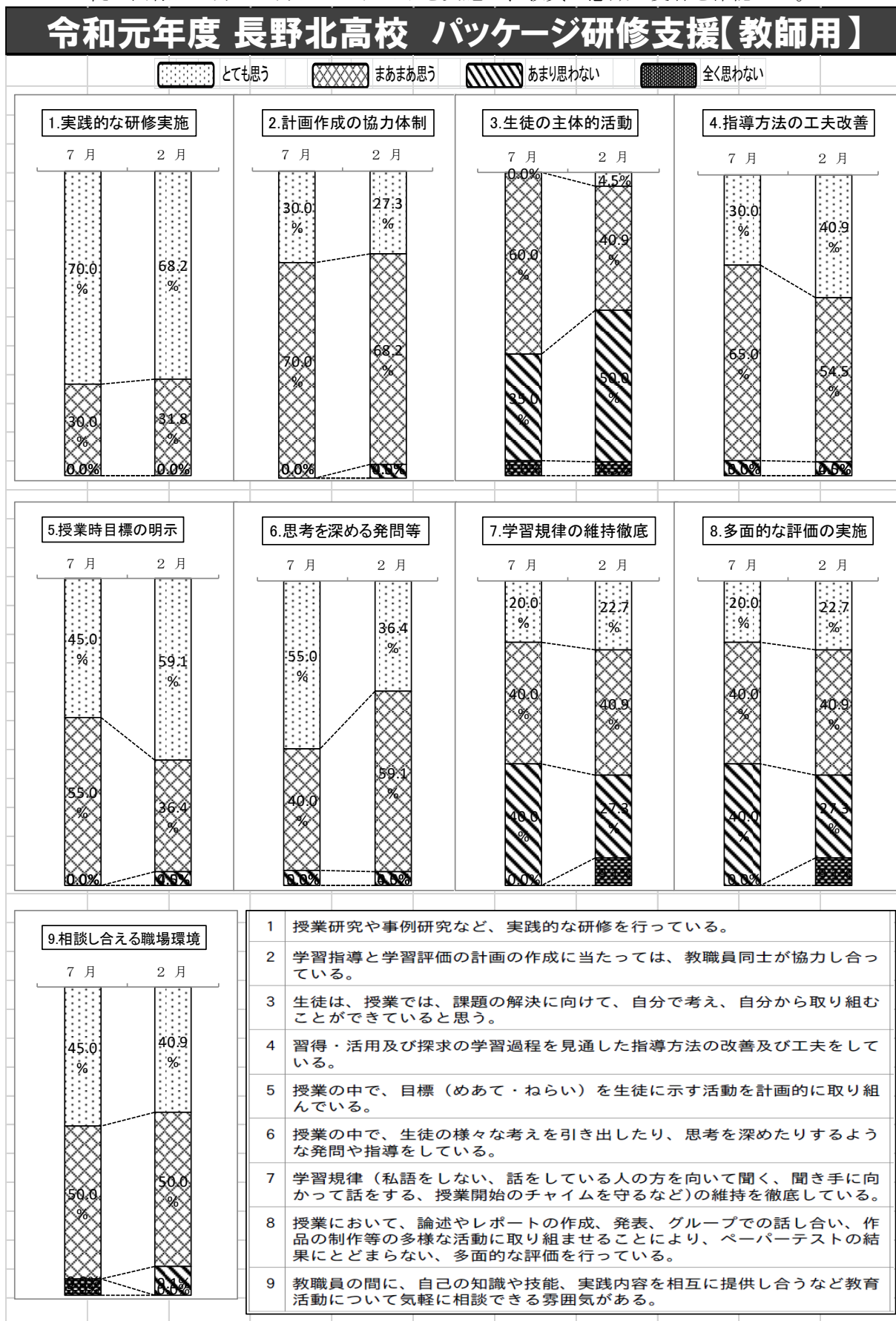
## (2) 生徒の変容

6月と12月に理科の全授業でアンケートを実施し、生徒の意識の変容を確認した。棒グラフの上が6月、下が12月の結果である。すべての項目であてはまる割合が高くなっている。



### (3) 教員の変容

生徒と同様に7月と2月にアンケートを実施し、教員の意識の変容を確認した。



- ・数値が大幅に高くなった項目：

質問項目		肯定的評価率(%)	
		6月	12月
項目4	理科の授業で、自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表したりしている。	33%	48%
項目5	理科の授業では、動画を用いた資料の提示がどのくらい行われましたか。	80%	96%
項目6	観察や実験を行うことは好きだ。	76%	85%
項目7	授業では、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	56%	75%

学期ごとに明確な目標を提示し、具体的にどのように授業実践するかを考えて授業づくりに取り組んだ結果があらわれている。また、授業する際にそれを生徒に示すことで、目標とする力がより身に付けやすいよう実践した結果である。これらの取組みにより、生徒アンケート 1. 授業が好きである 2. 内容がわかりやすいという結果の伸びにつながったと考える。

- ・職員室における授業の会話が増えた。
- ・学期ごとに実践内容の振り返りと発表したことで、多くの実践例や実践策について教科を超えて共有できた。

#### 4 今後に向けて

##### (1) 今年度の課題

- ① 4つの力が身に付いたか、有効な振り返りを研究する。
- ② 授業公開月間における見学率の向上および見学後のアンケート回収率の向上

##### (2) 次年度に向けて

- ・次年度に向け、プロジェクトチームで今年度の課題について検討し、3月には全教職員へ発信できるよう準備する。
- ・今年度は目標や実践内容について教員生徒ともに視覚的に訴えた。意識づけにつながっているので次年度も実践する。

令和元年度 校内研修年間実施報告

1 今年度の目標(テーマ・主題)

学校目標	生徒の自己肯定感を育み、進路希望の実現につなげる。 1 自己肯定感を高める。 2 多様な進路希望をもつ生徒の希望進路を実現する。 3 安全で安心な魅力ある学校づくり 4 学校運営体制の効率化と危機管理能力の向上
テーマ	長野北高校の生徒に身につけさせたい4つの力 「自己肯定感」「コミュニケーション力」「基礎学力」「自分で考える力」の育成
目標	授業における4つの力の育成

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
3	15	第1回ミーティング ・役割分担 ・今年度の活動確認	
4	15	パッケージ研修説明会	
	17	第2回ミーティング ・研究授業担当者の確認 ・研究授業時期の確認	
5	8	第3回ミーティング ・授業公開月間(6月)の計画	
6			・第1回 授業公開月間 ・生徒向けアンケート①実施
7	23	第4回ミーティング ・授業公開月間振り返り ・校内全体研修会プランニング	・校内全体研修①「1学期の振り返り・2学期に向けて」 ・教員アンケート①実施
8	20	第5回ミーティング ・校内全体研修振り返り ・授業公開月間(9月)の計画	
9	19	第6回ミーティング ・代表者の研究授業について	第2回 授業公開月間
10	10		・研究授業(2時間)
	17		・研究協議(校内全体研修②)
	29		・10年研修研究授業



11	7 20	第7回8回ミーティング ・3学期の目標確認 ・校外視察について (富山県立高岡向陵高等学校視察)	
12	23	第8回ミーティング ・3学期「基礎学力の育成」における全体研修についての計画	・各教科から3学期の目標における具体的な取り組みの検討 ・生徒向けアンケート②実施
2	6		・教員アンケート②実施
	21	「研究のまとめ」作成	・各教科から3学期の目標における具体的な取り組みについての振り返り
3		第9回ミーティング ・次年度に向けて	

令和2年度 校内研修年間実施計画

1 今年度の目標(テーマ・主題)

学校目標	生徒の自己肯定感を育み、進路希望の実現につなげる。 1 自己肯定感を高める。 2 多様な進路希望をもつ生徒の希望進路を実現する。 3 安全で安心な魅力ある学校づくり 4 学校運営体制の効率化と危機管理能力の向上
テーマ	長野北高校の生徒に身につけさせたい4つの力 「自己肯定感」「コミュニケーション力」「基礎学力」「自分で考える力」の育成
目標	授業における4つの力の育成

2 年間予定

月	日	校内研究計画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
3	未定	第1回ミーティング ・今年度の実施計画 ・振り返りの方法の検討	・教科アンケート①「1学期の目標」
5	未定	第2回ミーティング ・授業公開月間(6月)の計画	
6	未定		・第1回 授業公開月間 ・生徒向けアンケート①実施
7	未定	第3回ミーティング ・授業公開月間ふりかえり	・教科アンケート②「1学期の振り返り・2学期に向けて」
8	未定	第4回ミーティング ・授業公開月間(9月)の計画	・教科アンケート③「2学期の目標」
9	未定		第2回 授業公開月間
10	未定	第5回ミーティング ・授業公開月間ふりかえり	
11	未定	第6回ミーティング ・ICT公開月間の計画	
12	未定		・ICT 授業公開月間 ・教科アンケート④「2学期の振り返り・3学期に向けて」
1	未定		・生徒向けアンケート②実施
2	未定	「研究のまとめ」作成	・教科アンケート⑤「3学期の振り返り」